

なからぎ

206号

2014年7月

生き生きとした現実感覚で経済学の古典を読む喜び

副学長・教務部長 小沢修司

私の研究生生活の基礎を築いてくれたのは、20歳ぐらいだったか基礎経済科学研究所（当時は経済学基礎理論研究所、略称は基礎研）との出会いでした。基礎研の主張（特徴）は、「生き生きとした現実感覚で経済学の古典を読む」、『資本論』の人間発達論読み、そして働きつつ学ぶ権利の確立です。『資本論』の人間発達論読みについては、以前の『図書館報』で書いたことがあります（『なからぎ』181号、2007年）ので、今回は「生き生きとした現実感覚で経済学の古典を読む」ことについて書きたいと思います。

この「生き生きとした現実感覚で経済学の古典を読む」というのは、働きつつ学ぶ権利の確立と対をなす概念です。当時はまだ社会人が入学する大学院というのは制度化されていませんでした。これに対して基礎研では社会人と共に経済学を学ぶことで経済科学の創造的発展ができると考えました。社会人にとっては日々の労働が忙しく、現実と格闘するなかで多くの問題意識を得るものの、継続して学習することはままならないものです。ですが、働く人々のもつ「生き生きとした現実感覚」は経済学の古典を読むに際しては素晴らしい効果を上げてくれます。往々にして、経済学に限らず社会科学の文献は知識を得るために読もうとするとなかなか頭の中に入ってはきてくれません。でも、「生き生きとした現実感覚」をもって経済学の古典を読むと、その文献が書かれた当時の問題状況や時代と格闘した経済学者の主張や苦悩がリアルによりみえってくるものです。

当時、学部の5、6回生（！）や修士の院生だった私は、社会人と一緒に経済学の古典（その一つが『資本論』でした）を読むなかで、多くの気付きを得ることができたものです。「生き生きとした現実感覚」は社会人が経済科学を学ぶ有効な方策であるにとどまらず、学生、院生が経済学を学ぶ有効な方法でもあるのです。（一応）経済学を専門的に学ぶ身ですから、社会人に対してはチューター的役割をしなければならないと自覚し工夫もするのですが、教えられたことの方が多かったことを記憶しています。

こうして生きた経済学を学ぶことで無味乾燥し現実離れした経済学ではなく現代に生きる経済学を創造的に発展させることができると主張する基礎研の考え方に、私ははまっていきました。基礎研が、社会人大学院の先駆をなす「夜間通信研究科」を創設した（大学院の名称を用いることは当時の文部省が許してくれませんでした）のが1975年、私が学部5回生の時でした。

（おざわ しゅうじ：公共政策学部教授）

錯視は面白い

図書館運営委員 田 伏 正 佳

みなさん、錯視というものをご存知でしょうか。錯視とは目の錯覚のことです。同じ大きさのものが違う大きさに見えたり、同じ明るさのものが違う明るさに見えたりする現象です。ミュラー・リヤー錯視 (図1) や ツェルナー錯視 (図2)、ジャストロー錯視 (図3) などはみなさんも一度は見たことがあると思います。

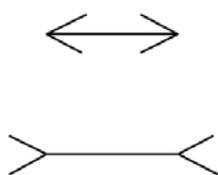


図1 ミュラー・リヤー錯視

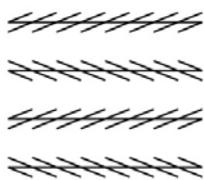


図2 ツェルナー錯視

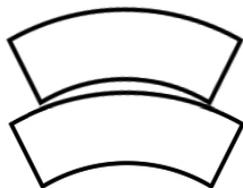


図3 ジャストロー錯視

しかし、目の錯覚といっても、錯視は目で起こるのではなく、脳で起こっている現象です。視覚の情報は目から入りますが、その情報をどのように知覚するかは脳がどのように解釈するかによって依存しているからです。

まず、はじめにいろいろな錯視を見ていきましょう。

(1) 形や大きさの錯視

・ミュラー・リヤー錯視

同じ長さの線分の両端に内側に向かう斜め線を加えると短めに感じ、外側に向かう斜め線を加えると長く感じます (図1)。この錯視は、19世紀後半にミュラー・リヤーが発見しました。

・ツェルナー錯視

平行線に斜め線を一つ置きに逆向きに引くと平行線が平行でなく見えます (図2)。この錯視は、19世紀の中ごろにツェルナーが発見しました。単に斜め線を加えるだけで平行線

が傾くという事実を知った時の驚きは非常に大きかったと思います。

・ジャストロー錯視

同じ大きさの二つの扇形の図形を上下に並べると、下のほうが大きく見えます (図3)。この錯視は、1889年にミュラー・リヤーが、1891年にジャストローがあいついで発見しました。ジャストロー錯視は、湾曲していない図形、たとえば、二つの台形を上下に並べても起こります。

・エビングハウス錯視

中央の二つの円は同じ大きさであるが、小さい円で囲まれた円の方が、大きな円で囲まれた円より大きく見えます (図4)。この錯視は、19世紀末にエビングハウスやティチエナーが発見したと言われています。

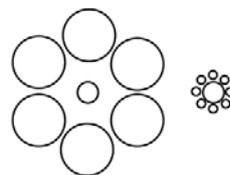


図4 エビングハウス錯視

(2) 明るさの対比

ある領域がそれより暗い領域に囲まれたらより明るく見え、明るい領域に囲まれたらより暗く見える現象です (図5)。この錯視は非常に古くから知られていました。隣り合う領域同士の明るさの差が強調されるため、錯視が起こります。



図5 明るさの対比

(3) きらめき格子錯視

黒色背景の格子上の白い丸の中に暗いものが現れたり消えたりするように見えます (図6)。この錯視は1997年シュラウフらにより発見されました。注視しているところでは錯視が弱くなります。

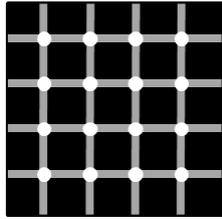


図6 きらめき格子錯視

(4) クレーター錯視

引っ込んである月のクレーター写真を逆さまにして見ると出っ張っているように見えることがあります。この現象をクレーター錯視といいます。ある対象の上端が明るく下端が暗ければ、出っ張って見え、逆に、その対象の上端が暗く下端が明るければ、引っ込んで見える現象です。地球上では光が上からあたるという経験からそのように認識されると考えられています。ラマチャンドラン図形 (図7) もクレーター錯視の一種であり、陰影をつけることで凹凸があるように見えます。また、上下を逆さにして見ると凹凸が逆になります。

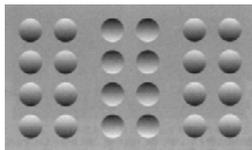


図7 ラマチャンドラン図形

(5) ホローフェイス錯視

ホローフェイス錯視とは、凹面の顔を片眼で見ると奥行き情報が十分でないときに、通常の凸面の顔として知覚する錯視です。通常、顔は凸面であるので、このような認識が起こります。ホローフェイス錯視の有名な例は首振りドラゴンです (図8)。テレビで紹介されたこともあるので知っている人もいるでしょう。このドラゴンを片眼でいろいろな角度から見るとドラゴンが首を振りいつもこちらを見ているように見えます。首振りドラゴンのペーパークラフトはネット上に公開されているので一度作ってみてはどうでしょうか。



図8 首振りドラゴン

(6) シルエット錯視

シルエットだけの画像は表裏の区別ができません。したがって、脳がその時の状況において表か裏かを判断します。シルエット錯視で有名な例は茅原伸幸によるスピニングダンサーという動画の作品です (図9)。動画を見たい人はスピニングダンサーのサイトを見てください。ダンサーはどちらに回転しているのでしょうか。右回転しているように見える人もいますし、左回転しているように見える人もいます。足元をずっと見てみると突然回転方向が変わることもあります。



図9 スピニングダンサー

今まで、いろいろな錯視を見てきました。では、錯視はどうして起こるのでしょうか。錯視は脳で起きる現象であることは間違いのないのですが、現在のところ統一的な説明はむずかしいようです。また、近年新しいタイプの錯視が次々と報告され、原因解明の研究が追いついていないのが現状のようです。錯視に興味を持たれた人は下記の本を読んでみてください。

[参考]

『だまされる視覚 錯視の楽しみ方』

北岡明佳、化学同人 (2007)

『錯視入門』北岡明佳、朝倉書店 (2010)

『錯視図鑑』杉原厚吉、誠文堂新光社 (2012)

『錯視完全図解』北岡明佳 (監修)、

ニュートンプレス (2007)

『錯視と錯覚の科学』北岡明佳 (監修)、

ニュートンプレス (2013)

首振りドラゴン http://www.grand-illusions.com/opticalillusions/three_dragons/
 スピニングダンサー <http://www.procreo.jp/labo/lab013.html>

(たぶせ まさよし：環境・情報科学科准教授)

御紹介の『だまされる視覚 錯視の楽しみ方』(請求記号145.5 || K)、『錯視入門』(請求記号145.5 || K)、『錯視図鑑』(請求記号145.5 || S)、『錯視完全図解』(請求記号141.21 || S) 開架大型、『錯視と錯覚の科学』(請求記号145.5 || K)、は、2階閲覧室入口に配架していますので御利用ください。

平成25年度の利用者サービスをふりかえって

貸出冊数の減少つづく

(貸出総数22,354冊 学生貸出冊数20,408冊)

過去最高だった平成23年度と比較して学生貸出冊数は900冊以上減少しています。

	23年度	24年度	25年度
文学・院生	1,490	1,904	1,970
文学・学部生	9,310	9,042	9,031
公共・院生	226	154	147
公共・学部生	3,726	3,138	2,704
生命環境・院生	1,271	1,696	1,097
生命環境・学部生	5,555	5,429	5,459
	21,578	21,363	20,408

学生希望図書購入冊数は増加

(23-201冊 24-186冊 25-259冊)

すっかり府大生に定着した制度です。後援会からの予算は前期で消化という状態が続いています。

数年前までは学生希望で購入した図書には、予約が複数入っていましたが最近はあまり入りません。学習内容や読書傾向が多様化しているためでしょうか。

図書館間相互貸借状況

平成16年度より ILL 料金相殺制度(*)に加入後は依頼・受付共に飛躍的に増加しました。

複写依頼・受付は平成19年度がピークでその後は緩やかに減少しています。電子ジャーナル、CiNii Articles、機関リポジトリ等から本文へのアクセスが容易になったためと考えられます。以前は依頼が圧倒的に多かったのですが、ここ数年はほぼ均衡しています。

貸借は平成18年度から昨年度まで受付件数が依頼件数を上回ってきました。本学が規模は小さくとも総合大学である所以でしょうか。また、京都関係図書への依頼も毎年一定数あります。平成25年度に貸借依頼が増えたのは、文学部4回生からの依頼が例年以上に多かったためです。

(*) ILL システムとは大学等の研究者に学術文献を提供するため、図書館間で図書や学術論文を相互に利用し合うための連絡業務を支援するためのシステムのことで、料金相殺制度によって文献複写等の料金に関する事務処理が簡便化されたことで全国的に依頼件数が増加しました。



特集 コーナー

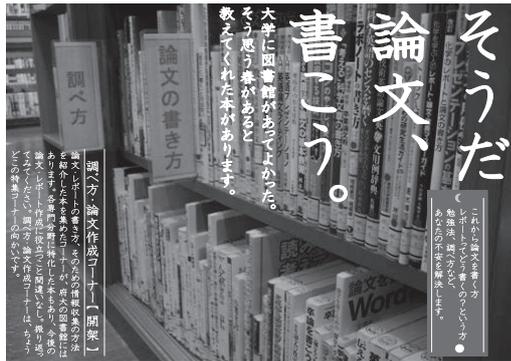


図書館に入ってすぐ左の書架にある、「特集コーナー」。

その特集コーナーでは季節や旬の話題にちなんだテーマを設定し、関連する本を並べています。

年度初めの「京都・論文」特集（4月）や京都ならではの「祇園祭」特集（7月）は恒例で、いずれも特にみなさんの関心が高いテーマのようにみうけられます。

2012年		2013年		2014年	
4月	京都・論文	4月	京都・論文	4月	京都・論文
5月	葵祭	5月	葵祭／舟を編む	5月	葵祭／翻訳
6月	文学忌	6月	時の記念日／ジューンブライド	6月	カフカ／衣更え
7月	祇園祭	7月	祇園祭		
8月	怖い話	8月	読書案内		
9月	ノーベル賞	9月			
10月	時代祭	10月	京都御所／お酒		
11月	紅葉	11月	和食		
12月	博物館	12月	欲望		
1月	占い・初夢	1月	2013年ベストリーダー		
2月	バレンタイン	2月	しあわせて何		
3月	映像化作品	3月			



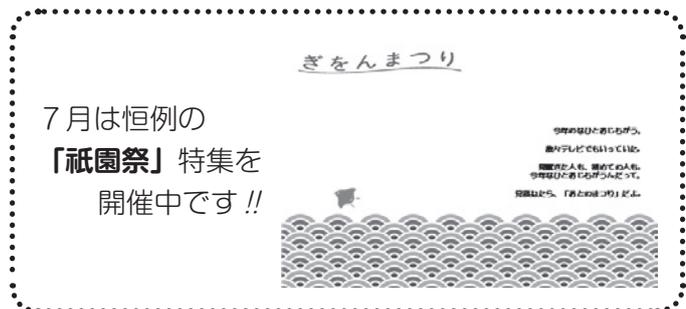
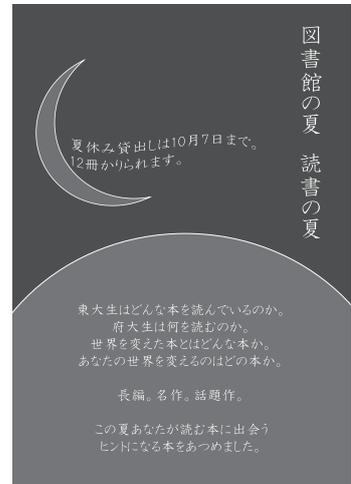
〈過去の特集テーマ一覧〉

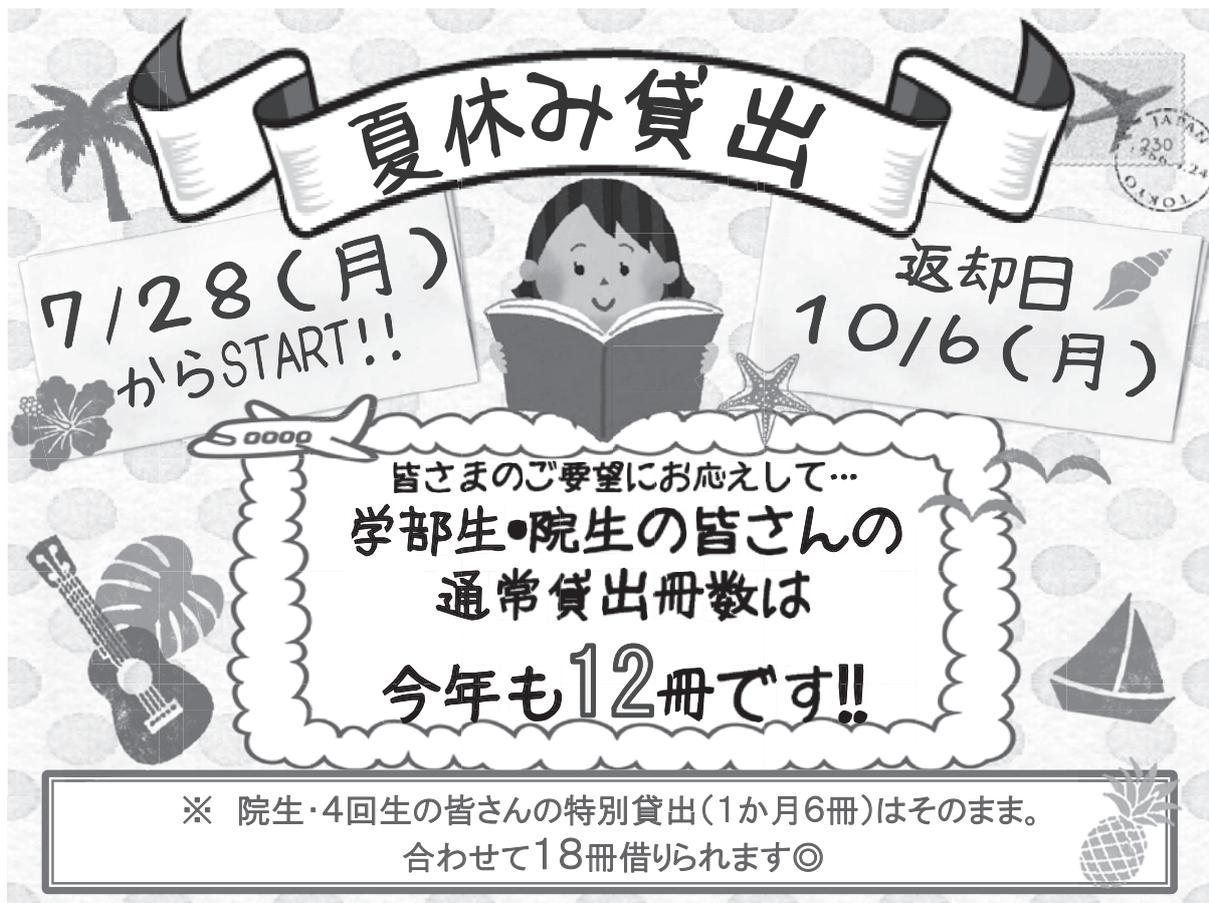
他にも人気が高かったのは、村上春樹氏のノーベル文学賞受賞が期待された2012年9月の「ノーベル賞」特集。過去の文学賞受賞作や山中伸弥教授の関連書籍を集めました。また、夏休み直前の2013年8月の「読書案内」特集では、『東大生はどんな本を読んできたか』『打ちのめされるようなすごい本』などインパクトのあるタイトルの本が並び、目を引いたのではないかと思います。

6月は衣更えにちなんで「オシャレの本」特集を開催しました。開架の本だけではなく東書庫にある「服飾研究」のものも並べ、中身はもちろんですが表紙を眺めるだけでもおもしろいラインナップとなりました。手に取って見た人も多かったのではないのでしょうか。

これからもその時々合った愉快的特集を考えていきますので、

ぜひちょっと足を止めてみてください。





夏休み貸出

7/28(月) からSTART!!

返却日 10/6(月)

皆さまのご要望にお応えして...
学部生・院生の皆さんの
通常貸出冊数は
今年も12冊です!!

※ 院生・4回生の皆さんの特別貸出(1か月6冊)はそのまま。
合わせて18冊借りられます◎

カレンダー

開館時間

9:00~ 21:00	9:00~ 17:00	休館 土日祝 蔵書点検
----------------	----------------	-------------------

☆閉館時の図書の返却は、図書館西側(喫煙コーナー付近)の返却ポストをご利用ください。

2014年7月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

2014年8月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2014年9月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

★7/19(土)20(日) 10:00~16:00
オープンキャンパスのため2階閲覧室開室。
在学生の利用も可。

★7/28(月)~ 夏休み長期貸出開始
貸出冊数12冊/返却予定日10/6(月)

★8/14(木)~29(金)
蔵書点検のため、2階閲覧室(書庫含む)閉室。
学内者は3階各室利用可能
(9:00~17:00)

★8/11(月)~13(水)、9/1(月)~26(金)
夏休みのため開館時間変更(9:00~17:00)

★9/16(火)~ 通常貸出
★9/29(月)~ 通常開館(9:00~21:00)